

宮崎国際大学

教育学部ニュースレター

教育学部2年目を迎えて

教育学部長 福田 亘博



教育学部は、昨年4月に27人の新入生を迎え、新しくスタートしました。学生は、入学後、すぐに大学生活にも慣れ、教養や専門等の授業に出席し、勉強するのは勿論のこと、サークル活動・部活動やボランティア活動にも積極的に参加し、大学の活性化に一役をかってくれました。また、オプション教育プログラムの「英語」・「音楽」及び「教員採用試験合格に向けた対策講座」等にも積極的に参加し、しっかりと勉強しました。3年後の公立学校の教員採用試験合格に向けて勉強を始めています。このように、1年目のスタートとしては、予想以上であったと自己評価しています。

さて、今年度新1年生41人を迎えました。また、今年度より新しく日高教授、橋口教授及び守川准教授をお迎えしました。長年、大学教育に従事されてきたベテラン教員です。今後、新しい教員ともども、1年目の貴重な経験をもとに、教養・専門教育における授業とオプション教育プログラムをより有機的に連携させ、小学校・幼稚園教諭及び保育士を目指す学生諸君の希望が必ず実現できるように教職員一同で支援していきたいと思えます。



教授 日高 英幸

生命と科学 教育の方法と技術 子どもの保健Ⅰ・Ⅱを担当します。子どもは人間の原点。共に考え、学びましょう。



教授 橋口 泰宜

教職概論 教育制度論等を担当します。主体的に学ぶ意欲と態度を育てましょう。



准教授 守川 美輪

図画工作 保育内容指導法(造形表現)を担当します。知識・技能・感性・創造性を高めましょう。



目次

教育学部2年目を迎えて...	1
教育学部に入学して	
小・幼コース	2
幼・保コース	2
小・幼コース+α	2
第1回教育学部大運動会...	3
学生教職支援センターより	
.....	3
学生教職支援センターを	
利用して	4
ボランティアに参加	4

ハイライト

教育学部2年目を迎え、教育学部の伝統をつくっていかうとする学生の積極的な姿を紹介します。

教育学部に入学して

教育学部の素顔

小・幼コース

1年 松山 鈴香 (延岡星雲高等学校出身)



私が最初に受けた印象は教育学部の人数の少なさです。昨年からはスタートした学部だということは分かっていたけれど、心配や不安がありました。

しかし、そんなことを一気に吹き飛ばしてくれる元気な先輩がおられ、特にAA（アドバイザー・アシスタント）と呼ばれる先輩方は、教師と言っていいほどしっかりしていて、一瞬にして私の目標となりました。また、小規模な分、アットホームな雰囲気があり、先輩方が企画してくれた宮崎国際大学オリジナルの運動会はとても楽しかったです。

勉強の面では、どの授業もためになるものばかりで、学ぶ意欲が高まります。苦手な科目でさえも先生方のおかげで楽しくなってきました。これから勉強だけでなく、サークルや行事などから、より多くのことを学びたいと思います。

勉強できる環境

幼・保コース

1年 秋實 優花 (都城西高等学校出身)



入学して3ヶ月経ちました。大学生活にもなれ、充実した毎日を送っています。

宮崎国際大学は勉強する環境がとても整っています。図書館にはさまざまなジャンルの資料が取り揃えられ、レポートなどの調べものをする際に利用しています。また、映画や漫画をみて時々息抜きをしています。

空き時間などにはピアノの練習ができるので、私のようなピアノ初心者でもやる気さえあれば、上達できる環境が整えられています。

この大学で私は少しでも多くのことを経験し、自分の目標を達成するために毎日頑張っていきたいです。

保育士資格取得も目指す

小・幼コース+α

2年 森岡 香奈 (志布志高等学校出身)



教育学部に入学し1年が経ちました。私にとっては、多くの経験、学びのある1年でした。特に印象に残っているのはスクールトライアルです。初めて教育の場に入り、先生という仕事の大変さを身をもって感じました。しかし、この経験がさらに

夢への意識を高めてくれました。

私は小幼コースを選び、小学校の先生になるために、勉強をしています。しかし、幼保連携型の認定こども園が増えてきていることを知り、幼稚園教諭免許だけでなく、保育士資格も取得したいと思うようになりました。そのため、今の私の目標は保育士資格も併せて取得することです。現在は、保育士資格を得るために必要な講義を受け、勉強しています。（単位を取ると国家試験が免除になります。）これからも、夢に向かって勉強していきます。

+α 保育士資格の取得を目指しませんか？

小幼コースの学生さんの中には、「小学校教諭と幼稚園教諭の資格はもちろん、できれば、保育士資格も取りたい！」という人もいます。本学教育学部では「+αで保育士資格を目指したい！」という学生には、下記のようなアドバイスをしています。

時間割の工夫により両方のコースの開講科目を受講することができます！

⇒保育士科目を履修することによって国家試験の免除科目を増やすことができます。

みなさんも宮崎国際大学教育学部で、2つの資格+α保育士資格を目指して頑張ってくださいませんか？

詳しくは入学後の履修指導において説明します。

教育学部学生企画 第1回教育学部大運動会

伝統をつくる・伝える

1年 畑中 心生 (宮崎学園高等学校出身)



第1回教育学部運動会が5月22日に行われました。目的は「一つの行事をみんなで盛り上げる」こと、「教育学部の伝統をつくる」ことでした。

当日は思った以上の盛り上がりを見せ、一人一人がチームのため、優勝という目標のため、精一杯の力を出すことができました。運動会をするまでは、そんなに力を入れる程のことではないだろうと思っていましたが、最後には全員が一致団結して応援していました。

競技中にはサプライズもあり、より一層盛り上がることができ、目標であった「一つの行事をみんなで盛り上げる」は大成功に終わりました。今後は工夫してさらに楽しいものになるように、教育学部全員で協力し、後輩が引き継ぐ伝統をつくっていきたいです。

企画してくれた学生代表に感謝

2年 山元 美奈 (宮崎北高等学校出身)



先日、教育学部大運動会が開催されました。主催は教育学部学生です。代表の学生が企画して、1・2年生の親睦も兼ねて行われました。

運動会の内容は、開会式に始まり、徒競走や障害物競走、全員リレーなど様々で濃いものでした。学生はどの競技にも全力で取り組んでいて、会場の体育館には笑顔と歓声が溢れていました。

私は副団長を務めました。1年生と関わるのは初めてだったのですが、しっかり2年生の話聞いてくれて、楽しく取り組むことができ、何より仲良くなれたことを非常に嬉しく感じています。これから一緒に頑張っていく仲間が増えてワクワクしています。

宮崎国際大学の教育学部は、2年目で伝統を自分たちの手で作り上げていかなければなりません。この運動会は、一期生と二期生の記念すべき第一回目の行事となりました。今回企画してくれた友人と、企画に携わってくださった先生方に感謝しています。



学生教職支援センター 平成27年度 教員採用試験合格支援プログラム

教員採用試験のための特別対策講座(基礎II)	2年生	6月15日から	全12回
特別対策合宿A	2年生	9月1日~3日	2泊3日
教員採用試験のための特別対策講座(基礎I)	1年生	後期から	全12回

学生教職支援センターでは上記プログラムを実施する他、採用試験の情報提供や、採用試験に関する学習相談・個別指導なども行っています。

学生教職支援センターを利用して

科目等履修生 森 隆史(宮崎国際大学 国際教養学部卒業)

私は、学生教職支援センターを利用し、毎日教員採用試験に向けて勉強しています。ここには、県別の対策問題集などが完備されており、快適で静かな雰囲気の中で、試験対策に励むことができます。採用試験に向けての悩みや疑問点は、支援センターの先生が助言してくれます。また、採用試験の情報提供もしてくれることもあり、大学側からの手厚いサポートで十分に試験対策に励むことができます。

加えて、採用試験対策の他に、ここには実際の各教科の教科書等が用意されています。教科書をもとに指導案を作成し、実際の現場を見立てて模擬授業を行うことができます。学生教職支援センターは、教師を目指す学生を全力でバックアップしてくれる心強い場となっています。



ボランティアに参加



左から太田原さん、菊池さん、長友さん



左から山下さん、伊東さん、荒瀬さん

子どもたちから学ぶこと

2年 菊池 葵(宮崎北高等学校出身)

5月24日に日南市子育て応援フェスティバルのボランティアに参加しました。私たち教育学部生は、4つのグループに分かれてのステージ発表と製作コーナーでのお手伝いをしました。

ステージ発表は、それぞれのグループで工夫をしながら準備をしました。私は「ミミズさんのお話」という劇のお母さん役をしましたが、お母さん役は説明が多く、子どもたちにわかりやすく伝えるにはどうすればよいか悩みました。本番では緊張しましたが、子どもたちからしっかり反応が返ってきたときは、とてもうれしかったです。

製作コーナーでは、子どもたちと「風船ブタさん」をつくりました。ここでは、いろいろな子どもがいること、子どもは私が思っていたよりも、もっとたくさんのことのできることを知りました。はさみを使える子、両面テープをはがせる子、丸をきれいに描ける子、いろいろな子どもがいて感動しました。今後も子どもたちの姿から学んでいきたいです。

伝えることの難しさ

2年 山下 昇平(宮崎南高等学校出身)

私は、今回の日南ボランティアで子どもと接することの難しさを学びました。私たちは子どもたちに問いかけながら一緒に話を進めていく、パネルシアターに臨みました。しかし、子どもたちはこちらの質問に対して、想定していなかったことを返ってきて、私たちを驚かせました。私たちも子どもたちのように柔軟な思考を持ちたいと感じました。

ステージ発表の他にも子どもと触れ合う機会があり、子どもたちはうれしそうに玩具を持ってきて、色々アピールするなど、積極的に意思を伝えてきてくれました。私も上手に意思を伝えられるようになりたいと思いました。今回のボランティアは大変貴重な経験となりました。ぜひまたチャレンジしたいと思っています。



宮崎国際大学

国際教養学部 比較文化学科
教育学部 児童教育学科

〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405番地

電話: 0985-85-5931 FAX: 0985-84-3396

ホームページ: <http://www.mic.ac.jp>



大学教育再生加速プログラム